

令和5年度 第1回 追分小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年4月27日（木） 13時30分から15時10分まで
- 2 開催場所 浜松市立追分小学校 会議室
- 3 出席委員 松田 勝、松本 依子、小山 正博、大澤 一夫、内山 丈夫、村上 美代子、伊藤 隆之、今泉 るり子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 坪井 百合子（校長）、平野 直孝（教頭）、佐野 尚也（CS担当）
山田 公子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - （1）議長の選出について
 - （2）追分小学校運営基本方針について
 - （3）追分小学校いじめ防止基本方針について
 - （4）夢育やらまいか事業CS加配分に対する意見書について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 山田 公子

10 会議記録

司会の平野教頭から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に確認を行い、前回決定事項である松本副会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）追分小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があった。今年度の追分小学校の目指す学校像『楽しい学校 追分小 ～ウェルビーイング（※1）の実現』のための具体的な活動の方向が示された。ランドデザインにある「やさしさ かしこさ たくましさ」を基軸に、お互いを認め合い、自分らしさを発揮し、生き生きした人生を享受する子供たちが集う場所であることを目標とする。また、「自分たちの学校は自分たちの手でよくしていこう」という考えを基に、子供たちの主体性を育てることに注力する。

※1. この場合におけるウェルビーイングとは、子供が心も体も満たされ、学校に居場所があり、明日もまた学校に行きたいと思わせる状況

説明を受け、委員からは以下の発言があった。

育てたい力の共有が大事である。（松本議長）

① たくましさ

- ・子供の安全を考えた方策はどのようなものがあるか。様々な認識を共有することでお互いの関係が近付き、よりよい方向に向けて協力して活動ができる。(内山委員)
- ・昨年度よりも教員を増員して対応している。学校全体・チームで対応するが、保護者や地域の方にもお力添えをいただきたいと考えている。(校長)

② やさしさ

- ・やさしさは、大人子供関係なく必要である。最近では子供たちも忙しく、落ち着いて家庭にいる時間が少ないように感じる。そんな中でも、お互いの声にじっくりと耳を傾け、気持ちを通わせることを家庭でも大切にしていけることで、小さいうちからやさしさを大切にできるのではないか。かしこさ・たくましさももちろん大切ではあるが、家庭だけでなく学校においても、お互いの話を聞ける・言えるという「やさしさ」が最も重要である。(小山委員)
- ・小山委員の意見に賛成である。やさしさを育てるには、お互いに目と目を合わせてふれあい、考え方のステップを小刻みにつけ、ステップを昇った子供を褒め、自分でよさを意識させることが効果的ではないか。気づきに価値があり、それを育てることが個の力を伸ばしていくことに繋がる。(松田会長)
- ・挨拶は学校、保護者、地域など、周りの積極的な声掛けや、自然と挨拶を交わす環境作りをすることで、声を発しやすい雰囲気になるのではないか。(今泉委員)
- ・先生が言ったから挨拶するというだけでなく、子供たちが委員会などで自分たちから考え、改善することが望ましい。今泉委員の意見のように機運が高まれば、学校としてもより進めやすくなり、大変ありがたい。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。また、現在の実情や課題を共有した。

(4) 夢育やらまいか事業CS加配分に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき学校に必要な支援について説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、2023年6月26日(月)午後1時15分から追分小学校会議室で開催する旨の報告があった。